



会社名	社会福祉法人南高愛隣会
所在地	長崎県諫早市福田町 357-15
事業内容	障がい者福祉サービス
設立	1977年10月28日
従業員数	708人（令和7年4月1日現在）
平均年齢	48.6歳／男女比 男性 48.2歳：女性 48.8歳
産業保健スタッフ	0名

① 治療と仕事の両立支援に取り組んだきっかけをお聞かせください。

近年、がんやメンタルヘルスなどの体調不良に伴う治療が必要となった職員の離職が課題となっていました。そこで、治療が必要となった職員へのサポート体制を強化し、仕事と治療の両立を行うことで、治療が必要になった後も職員一人ひとりが安心して就業継続できる環境を整える必要があると考えました。

② 両立支援を行うための仕組みや支援者・支援制度をお聞かせください。

<両立支援に関する意識啓発>

- ・休職・復職の対応についてのガイドラインを作成し、管理者の理解を促す取り組みの実施

ガイドラインも作成・共有して終わりではなく、オンラインでガイドラインについての説明会を実施しました。初期対応はじめ具体的なケースを交えながら理解を深めることができました。

<働き方について>

- ・主治医やご本人の希望を聞きながら、就業上必要な配慮による働き方支援をしています。
- ・在宅勤務（リモート）を活用し、業務と心身の負担軽減につとめています。

② 貴事業場の治療と仕事の両立支援の具体的な事例（実例・実績）をお聞かせください。

がんに罹患した職員の事例です。

主治医や本人の希望（治療方針）を把握した上で、

休職中は傷病手当金申請による経済的不安を軽減しました。

復職後は在宅勤務の活用ができる業務に変更また、体調を考慮し短時間勤務へ契約変更を行うことで精神的・肉体的な負担を軽減しました。

③ 両立支援に取り組まれたことによって生じた良い効果についてお聞かせください。

社内に制度がある・実績がある事が管理者や一般職員へ周知されることで自分が病気になった時も上司（管理者）や労務担当へ気軽に両立支援の相談をすることができ、さらには必要な対策を講じてもらえ、安心して働く職場風土の醸成に繋がっています。

④ その他

常に変化している社会環境や労働環境に注視し、今後も職員の健康管理やメンタルヘルス支援、復職支援の対応を職員の声に寄り添いながら考え安心して働く・働き続けることができる職場を目指します。